

# 神戸空港の国際化と今後の取組

神戸市 港湾局 空港調整課

## はじめに

2022年9月の第12回関西3空港懇談会において、「2025年春の国際チャーター便の運用開始」「国内線の発着枠の80回↓120回への拡大」「2030年前後の国際定期便の運用開始」などが合意されました。まずは2025年春の国際チャーター便の運用開始に向け、新たに第2ターミナルを整備するとともに、エプロン（駐機場）を10スポットから15スポットに拡張し、2025年4月18日から供用開始しました。

## 神戸空港の特徴

神戸空港はポートアイランド沖に造成された神戸空港島に建設され、2006年2月16日に開港しました。

国内線専用の空港として、運用時間や発着回数からのアクセスの良さや、鉄道や高速道路などの充実した交通網、そして国内各都市との充実した就航ネットワークなどを武器に、開港以来、多くの方々にご利用いただけてきました。

2018年4月からは、関西国際空港、大阪国際空港（伊丹空港）との一体運営により、関西全

体の航空需要の拡大、神戸経済の活性化及び関西経済の発展に寄与すること、そして空港全体での一体的・機動的な経営を実現し、魅力ある空港を実現することを目的に、関西エアポート神戸株式会社によるコンセッションが始まりました。今回新たに供用開始された第2ターミナルについても、同社による指定管理者制度により運用されています。

旅客数は、2017年度から300万人を超えた一方で20・21年度はコロナ禍の影響で大幅に減少しましたが、22年度には再び300万人を超えるまで回復し、24年度には過去最高となる361万人を記録しました。25年度も4月18日からの国際チャーター便の運用開始を皮切りに旅客数の増加を見込んでおり、国際定期便が就航予定の2030年前後には国内線・国際線あわせて700万人に達すると予測しています（図1）。  
今後は、この国際定期便の運用開始に向け、関係者と協議しながらエプロン（駐機場）やターミナルの整備など更なる空港機能の強化へ向けて検討

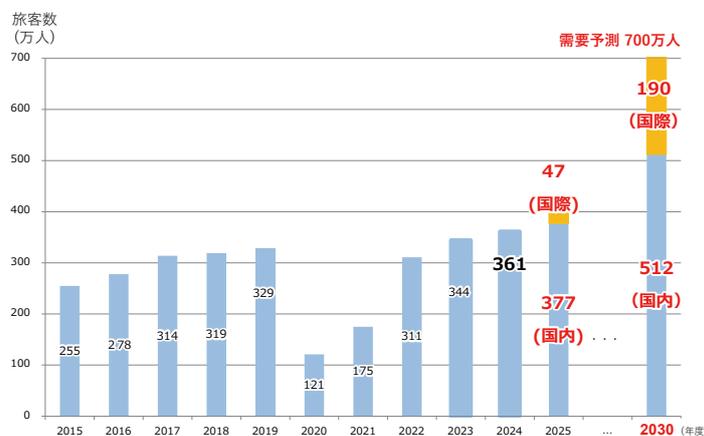


図1 旅客数の推移と今後の需要予測

を行ってまいります。

## 就航路線及び実績

国内線は、本年夏ダイヤでは7つの航空会社（全日本空輸、スカイマーク、ソラシドエア、エア・ドゥ、フジドリームエアラインズ、トキエ

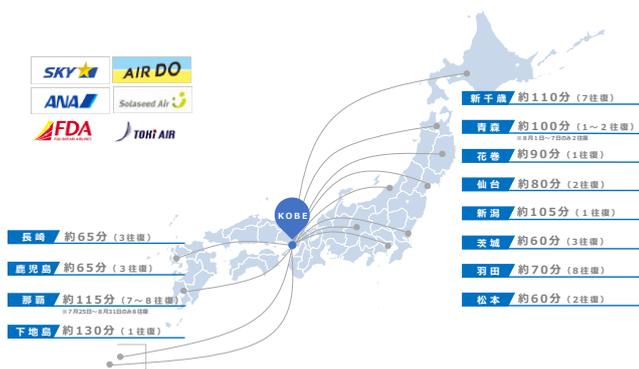


図2 国内就航路線



図3 国際就航路線



第2ターミナルの外観

国際チャーター便を安全・安心・快適に受け入れられるよう、引き続きC I Q各官庁や航空会社、関西エアポート神戸株式会社など関係者の皆さまと連携した取組を進めていきます。また関西の西の空の玄関口として、兵庫県西北部や中四国をはじめとする神戸以西の新たな市場開拓に積極的に取組むとともに、国際都市神戸の空の玄関口として航空需要の拡大を図り、神戸のまちの成長・発展、そして関西経済全体に波及するような取組を着実に進めていきます。

### おわりに

ア)により、直行便12路線(1日38~41往復)が就航しています(図2)。

国際チャーター便は、2025年7月1日現在で4社のフルサービスキャリアの航空会社(大韓航空・上海吉祥航空・スターラックス航空・エバー航空)により、3カ国・地域(韓国・中国・台湾)との間で直行便5路線(週40往復)が就航しています(図3)。

また、今年の4月30日と5月4日には、ベトナムとの間でベトジェットエアが就航し、10月4日から10日には、台北との間でスカイマークによる国際チャーター便が就航します。

## 第2ターミナルの特徴

第2ターミナルは「海に浮かび、森を感じる」

をコンセプトに、出発・到着ロビーには六甲山を望むガラス張りの大開口を設け、また木材の利用や多くの植栽を配置することで、緑と木々に包まれた温かく、開放感のあるターミナルとしています。また2階の展望デッキからは神戸の街並み・六甲山・明石海峡大橋などを望むことができ、神戸の海と山を感じることができ、

空港機能においては、旅客動線を上下移動なく、スムーズに搭乗できるように、航空会社のチェックインカウンター、保安検査場、搭乗待合室、C I Q(税関・出入国管理・検疫)などの主要機能を1階に集約し、初めて使う旅客も迷わず安心して利用できるユーザーフレンドリーな施設としています。

出国手続き後の搭乗待合室には免税店が開業し、

## 神戸空港へのアクセス充実

神戸空港限定グッズや神戸に本社を置く企業の日本酒やスイーツ、ファッションアイテムなどを取り揃えています。

神戸空港へは、自家用車、ポーターライナーでのアクセスに加え、三宮・新神戸~神戸空港間を結ぶシャトルバス「マリンエアシャトル」も運行しています(平日7:30~8:30は、5~10分間隔で10便運行。片道運賃340円)。

また、淡路島や徳島、三田方面やユニバーサルスタジオジャパンなど神戸市外へのアクセスバスも充実しています。今後も兵庫県西北部や中四国をはじめとする神戸以西を中心に路線・便数のさらなる充実を図っていきます。